

船舶事故調査報告書

平成21年9月3日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘
委員 楠 木 行 雄
委員 横 山 鐵 男（部会長）
委員 山 本 哲 也
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明(平成21年4月13日 16時10分ごろ～19時00分ごろに乗組員は落水したものと考えられる。)
発生場所	不明(乗組員の遺体発見場所は、阪神港神戸区六甲沖であった。)
事故調査の経過	平成21年4月15日、本事故の調査を担当する主管調査官(神戸事務所)ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	引船 わかしお丸、78.26トン 119592、福山海運株式会社 21.52m×6.30m×2.60m、鋼 ディーゼル機関、331kW、昭和53年12月6日 はしけ ㊟大栄丸 ^{だいえい} 個人所有 43.00m×10.00m×4.50m、鋼 機関なし、進水年月不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 五級海技士(航海) 免許登録日 昭和35年5月27日 免状交付年月日 平成19年5月11日 (平成24年5月28日まで有効) ㊟大栄丸乗組員 男性 38歳 海技免状及び操縦免許証なし
死傷者等	死亡 1人(㊟大栄丸乗組員)
損傷	なし
事故の経過	わかしお丸は、パルプを積載したはしけ3隻及び飼料を積載したはしけ1隻(各はしけに乗組員1人が乗船)をえい航して引船列を構成し、平成21年4月13日16時10分ごろ、阪神港大阪区の築港を出港した。19時ごろ、阪神港須磨沖付近で、わかしお丸船長が各はしけの乗組員に携帯電話で航海灯の点灯を指示したが、引船列最後尾の㊟大栄丸(以下「本件はしけ」という。)からは応答がなかったものの、本件はしけの乗組員は寝込んでいるものと判断し、本件はしけのみ無灯火の状態で行った。4月14日11時30分ごろ、引船列が、岡山県宇野港に入港後、わかしお丸船長が本件はしけ内部を点検したところ、乗組員がいなかった。

	平成21年5月3日14時00分ごろ、阪神港神戸区六甲沖において、本件はしけ乗組員は救命胴衣を着用していない状態の遺体で発見された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南～西、風力 1 海象：平穏 特記事項：少々霧 ^{もや} がかかっていた。	
その他の事項	本件はしけのハッチカバーシートを固縛する細い紐のうち、ハッチ全周の約10分の1が固縛されずに残されていた。 なお、救命胴衣は、本件はしけのロッカーに備品数の2着が残っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 本件はしけのハッチカバーシートを固縛する紐及び残された救命胴衣の状況から、本件はしけ乗組員は、救命胴衣を着用せず、固縛作業中に落水した可能性が考えられる。死因は溺水によるものと考えられる。
原因	本事故は、本引船列が、夕刻、阪神港大阪区を出港後、乗組員が救命胴衣を着用せず、本件はしけのハッチカバーシートを固縛する作業中に落水したため、発生した可能性があると考えられる。	